

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	山梨大学	申請大学長名	前田 秀一郎
申請類型	オンリーワン型	プログラム責任者名	川村 隆明
整理番号	F04	プログラムコーディネーター名	内田 裕之
プログラム名	グリーンエネルギー変換工学		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

人類が直面している最も大きな課題の一つであり、我が国の新成長戦略分野の一つとして位置づけられているグリーンエネルギーの変換と貯蔵に関する科学技術の飛躍的発展が強く望まれている。本学位プログラムでは、燃料電池、太陽エネルギー、エネルギー変換材料、新エネルギー工学の4分野のエネルギー変換工学とその経済性に広い視野角を持ち、種々のエネルギー変換デバイスの技術的ならびに経済的な長所と短所を十分に理解し、短期、中期、長期的な視点に立ち、それらのベストミックスを実現でき、グローバルに活躍するグリーンイノベーション創出のリーダーを、産学官が理念を共有した教育体制により育成することを目的としている。これは本学の目指す専門分野の枠を超えた連携による研究教育を実施する体制を、博士課程を通じて一貫した学位プログラムとして構築し、質の保証された博士課程教育システムを確立するものである。

2. プログラムの進捗状況

1. 教育研究環境・支援体制の整備

- ・大学院に「グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム」を新設。導入科目や専門基礎科目を新設。
- ・第一期生19名（4月入学：前期(修士)課程13名、後期(博士)課程3名 10月入学：後期(博士)課程3名）を迎え本格的にプログラムを開始。
- ・4月にキックオフ記念式典、プログラム担当教員による全体会議及び意見交換会を開催。
- ・研究奨励金受給者2名を選抜し、7月から支給。RAとして16名を雇用。留学生メンターを採用。
- ・全教員と学生による毎月定例の研究発表会を開催。
- ・e-learningシステムを整備。共通ラボを確保し、先端機器を整備。
- ・国際燃料電池ワークショップ(IFCW)、第1回国際セミナーを開催。併せて外部評価委員会を開催。
- ・国外から先端研究者を招聘し、特別講義やセミナーを開催。

- ・成果発表や情報収集のため、国内外の学会等に参加。
- ・プログラム学生が自由に討論できる場としての「カフェ」を設置。
- ・平成25年度から始まるインターンシップの手続きに関する規程を整備。派遣先とのMOU締結。

2. 優秀な学生の確保

- ・ポスター、パンフレット、ビデオを作成し、国内外で広報活動を実施。
- ・平成24年10月入学者（後期(博士)課程3名）を選抜。
- ・平成25年4月入学者（前期(修士)課程13名、後期(博士)課程7名）を選抜。

以上、計画どおり順調に進捗している。